

単元名 ヨーロッパ人との
出会いと全国統一

単元学習前の生徒の認識

室町時代は、応仁の乱を境に戦国時代に突入した。小学校でも信長や秀吉については学習していて、二人はとても大きな権力を持って政治をしていたことは知っている。でも、具体的にどうやって乱れた社会を統一していったのか、もっと調べて、この時代のことを知りたい。

ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをもくめたのだろうか。

第1時 中世ヨーロッパとイスラム世界

【●主体的に取り組む態度 ●知識・技能】

中世ヨーロッパとイスラム世界は、どのような社会だったのだろうか。

☆正教会☆カトリック教会☆ローマ教皇☆イスラム帝国☆オスマン帝国☆十字軍

中世ヨーロッパでは、キリスト教が広まり、人々の考えや生活に大きな影響を与えた。カトリック教会では、ローマ教皇が強い権力をもっていた。7世紀のアラビア半島では、イスラム帝国が力を伸ばしていた。15世紀には、オスマン帝国がビザンツ帝国を征服した。イスラム勢力の台頭に対抗するために、十字軍が組織された。

第2時 ルネサンスと宗教改革

【●知識・技能】

イスラム世界は、ヨーロッパの文化やキリスト教にどのような影響を与えたのだろうか。

☆ルネサンス☆宗教改革☆プロテスタント☆イエズス会

イスラム世界と接したため、古代ギリシャの文化がヨーロッパへ持ち込まれルネサンスがおこった。また、宗教では、それまでのキリスト教のあり方を批判し、聖書を大切にす宗教改革が起きた。彼らはプロテスタントと呼ばれた。カトリックの中からもキリスト教の立て直しを図るために、イエズス会が組織された。

第3時 ヨーロッパ世界の拡大 【●知識・技能】 【●思・判・表】

ヨーロッパ人の海外進出によって、世界はどのように変化したのだろうか。

☆大航海時代☆バスコ・ダ・ガマ☆コロンブス☆植民地
☆マゼラン

ルネサンスで、航海技術が急速に発展し、ヨーロッパは世界各地に進出した。アメリカ大陸は、ヨーロッパの植民地となり、アフリカの人々は奴隷としてアメリカに送られ、銀や砂糖がヨーロッパにもたらされた。(三角貿易)

第7時 桃山文化 【●知識・技能】 【●思・判・表】

桃山文化とは、どのような文化なのだろうか。

☆桃山文化☆茶の湯☆千利休☆狩野永徳
☆出雲阿国☆南蛮文化

桃山文化は、今までの文化にはない力強さ、豪華さ華やかさがある。やはり、乱れた世の中が一人の天下人に統一されて、新しい社会が形成される時代を反映しているのだから。また、これまでと違う文化が広がった背景には、ヨーロッパとの交流も関係していると考えられる。大名や豪商など支配者は富が集中し、その権力を示すかのように建物は大きく、作品も華やかである。

単元を中心とする授業

第4時 ヨーロッパ人との出会い 【●主体的 ●知識・技能】

ヨーロッパ人との出会いによって、日本の社会はどのように変化したのだろうか。

☆鉄砲☆ザビエル☆南蛮人☆南蛮貿易☆天正遣欧使節団☆キリシタン大名☆種子島☆キリスト教

ヨーロッパ人が日本に来たことで、鉄砲やキリスト教が伝えられた。鉄砲の伝来は、築城技術や戦国時代の戦法に大きく影響し、キリスト教は九州各地などに普及し、慈善活動も行っていたため、民間にも信仰が広まった。

第5時 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 【●主体的 ●思・判・表】

織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一をめざしたのだろうか。

☆織田信長☆樂市樂座☆豊臣秀吉☆安土桃山時代
☆バテレン追放令☆城

信長は、城下で樂市樂座を行って、商工業を発展させた。鉄砲をつかった戦術やキリスト教を擁護するなど、積極的に新しいものを取り入れた。しかし秀吉は、布教活動が侵略政策と結びついていることを危惧し、キリスト教を弾圧した。信長と秀吉の時代を安土桃山時代という。

第6時 兵農分離と秀吉の対外政策

【●主体的 ●思考・判断・表現】

豊臣秀吉は、どんな政策で支配しようとしたのだろうか。

☆太閤検地☆石高☆刀狩☆兵農分離☆朝鮮侵略(文禄の役・慶長の役)

豊臣秀吉は、太閤検地を行い全国の田畑の面積や土地を調べ、石高という統一の基準であらわした。また、寺社などがもっていた特権を廃止したり、武士と農民を分けるために刀狩を行ったりした。(兵農分離) また、海外との貿易を積極的に行い、朝鮮半島も支配下に入れようとしたが失敗し、結果豊臣氏の没落につながっていった。

単元学習後の生徒の認識 15世紀から17世紀にかけてヨーロッパでも文化や宗教に関する大きな変化があった。また、その変化の中で航海の技術も発達し、ヨーロッパ人は外の世界へと目を向けていった。日本もその一つであり、日本にとってヨーロッパ人との出会いは、鉄砲、キリスト教の伝来という大きな影響をもたらした。織田信長はヨーロッパからの新しいものを積極的に受け入れ、新しい世の中を作る先駆けとなった。それを受け継いだ豊臣秀吉は、宗教に関しては織田信長と反対の立場をとったが、太閤検地や刀狩などで、全国を支配する仕組みを整えていった。ヨーロッパ人との出会いによって、権力者が自分の力を見せつけるかのような豪華な桃山文化が生まれた。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料指導・援助
1 中世ヨーロッパとイスラム世界	<p>中世ヨーロッパの動向を調べる活動を通して、中世ヨーロッパやイスラム世界の様子をつかみ、単元を貫く課題を意欲的に迫っていこうとすることができる。</p> <p>☆正教会 ☆カトリック教会 ☆ローマ教皇 ☆イスラム帝国 ☆オスマン帝国 ☆十字軍</p>	<p>1. P98・99の写真や年表から、近世についての学習意欲をもち、単元を貫く課題をもつ。</p> <p>ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのだろうか。</p> <p>2. 本時の学習課題を設定する。</p> <p>中世ヨーロッパとイスラム世界はどのような社会だったのだろうか。</p> <p>3. 中世ヨーロッパとイスラム世界の様子を調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパでは、キリスト教が正教会とカトリック教会に分かれていたようだ。 ・イスラム世界は、イスラム帝国が支配していたが、モンゴル帝国の支配を受けた。 ・イスラム勢力が台頭し、それに対し、ヨーロッパの諸国が十字軍を編成し、西アジアに遠征した。 <p>4. 本時の学習をまとめる</p> <p>中世ヨーロッパでは、キリスト教が広まり、人々の考えや生活に大きな影響を与えた。カトリック教会では、ローマ教皇が強い権力をもっていた。7世紀のアラビア半島では、イスラム帝国が力を伸ばしていた。15世紀には、オスマン帝国がビザンツ帝国を征服した。イスラム勢力の台頭に対抗するために、十字軍が組織された。</p>	<p>中世ヨーロッパやイスラム世界の様子を調べ、ヨーロッパやイスラム世界の動きをつかむことができる。</p> <p>態度＝課題追究や交流の様子、個人の振り返り 知・技＝資料読み取りの様子</p>	<p>◇P98,99 ◇年表 ◇イスラム世界の拡大 ◇十字軍の遠征</p> <p>構造的な板書で、宗教によって歴史の流れがつくられていることを理解できるようにする。</p>
2 ルネサンスと宗教改革	<p>イスラム世界がヨーロッパに与えた影響について調べる活動を通して、ルネサンスや宗教改革が起こったことに気付き、ヨーロッパ世界が大きく変化したことを理解できる。</p> <p>☆ルネサンス ☆宗教改革 ☆プロテスタント ☆イエズス会</p>	<p>1 三美神の絵の写真から、古代ギリシャの絵と同じような画風になっていることを知り、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代の絵と似ている。なぜ絵の描き方が大きく変化したのだろう。 <p>イスラム世界は、ヨーロッパの文化やキリスト教にどんな影響を与えたのだろうか。</p> <p>2. 写真や資料からイスラム世界がヨーロッパに与えた影響を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラムの文化がヨーロッパに与えた影響の中で、人間の解放をめざすルネサンスが起き、学問や芸術が再興した。 ・ルネサンスの影響によって、キリスト教世界に聖書に立ち返ろうとする宗教改革が起きた。キリスト教はイエズス会を組織し、世界へ進出した。 <p>3. 本時の学習についてまとめる</p> <p>イスラム世界と接したため、古代ギリシャの文化がヨーロッパへ持ち込まれルネサンスがおこった。また、宗教では、それまでのキリスト教のあり方を批判し、聖書を大切にす宗教改革が起きた。彼らはプロテスタントと呼ばれた。カトリックの中からもキリスト教の立て直しを図るために、イエズス会が組織された。</p>	<p>イスラム世界と接したことで、ヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革が起こりヨーロッパのアジア進出につながったことを理解している。 知・技＝資料読み取りの様子</p>	<p>◇ギリシャ・ローマ神話の中の三美神の絵 ◇モナリザ ◇ルターとカルバン 三美神の絵を対比させ、イスラム世界がヨーロッパの文化に影響を与えたことを視覚的に分かるようにする。</p>
3 ヨーロッパと世界の拡大	<p>ヨーロッパの世界進出について調べる活動を通して、香辛料や植民地、布教などを目的としていたことに気付き、ヨーロッパが世界とつながっていったことを資料から読み取ることができる。</p> <p>☆大航海時代 ☆バスコ・ダ・ガマ ☆コロンブス ☆植民地 ☆マゼラン</p>	<p>1. 16世紀ごろの世界を見て、当時のヨーロッパ人が世界に進出していたことを知り、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ大陸やアメリカ大陸を経由している。 ・インドなどのアジアに進出している。 <p>ヨーロッパ人の海外進出によって、世界はどのように変化したのだろう。</p> <p>2. 写真や資料から、スペイン、ポルトガルがどのように世界へ進出してどんな貿易をしていたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスコ・ダ・ガマは、アジアに香辛料をもとめた。マカオなどを拠点とする中継貿易が行われた。 ・コロンブスは西回りでアジアをめざしたが、アメリカ大陸を発見した。アメリカ大陸は、ヨーロッパ人の植民地とされて、アフリカから大量の奴隷が連れてこられた。 ・マゼランは世界一周に成功した。 <p>3. 本時の学習についてまとめる</p> <p>ルネサンスで航海技術が急速に発展し、ヨーロッパは世界各地に進出した。アメリカ大陸では、ヨーロッパの植民地となり、アフリカの人々はアメリカに送られ、銀や砂糖がヨーロッパにもたらされた。(三角貿易)</p>	<p>「16世紀頃の世界」からスペインやポルトガルが世界へ進出し、世界が一体化していったことを読み取るなど、歴史地図を読み取っている。</p> <p>知・技＝資料読み取りの様子 思考＝交流の発言</p>	<p>◇16世紀頃の世界 ◇大西洋の三角貿易 ◇香辛料 ◇上陸するコロンブス ◇奴隷がつめこまれた船 資料の読み取りにつまずいている生徒に該当箇所を指し、調べたことをまとめられるようにする。</p>
4 ヨーロッパ人との出会い	<p>ヨーロッパ人が日本にもたらした道具や宗教について調べる活動を通して、日本国内に広まり、人々の生活や戦国大名に影響を与えたことを理解する。</p> <p>☆種子島 ☆鉄砲 ☆キリスト教 ☆ザビエル ☆南蛮人 ☆南蛮貿易 ☆天正遣欧使節団 ☆キリシタン大名</p>	<p>1. 本時の課題を設定する。</p> <p>ヨーロッパ人との出会いによって、日本の社会はどのように変化したのだろうか。</p> <p>2. 課題に対して個人で追究し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル人が種子島に鉄砲を伝えた。戦国大名が鉄砲に注目し、堺や国友などで職人によって鉄砲がつくられた。 ・イエズス会のザビエルがキリスト教を日本に伝えた。 ・平戸や長崎などで貿易がはじまった。スペイン人は南蛮人と呼ばれたので、この貿易を南蛮貿易という。 ・キリスト教は、九州地方を中心に普及し、戦国大名の中にはキリスト教徒になる者もあらわれた。これをキリシタン大名という。 ・天正遣欧使節団を組織し、少年たちをヨーロッパへ派遣した。 <p>3. 本時の学習についてまとめる</p> <p>ヨーロッパ人が日本に来たことで、鉄砲やキリスト教が伝えられた。鉄砲の伝来は、築城技術や戦国時代の戦法に大きく影響し、キリスト教は九州各地などに普及し、慈善活動も行っていたため、民間にも信仰が広まった。</p>	<p>鉄砲やキリスト教などヨーロッパ人が日本に伝えたものが、日本国内に広まり、人々の生活や戦国大名に影響を与えたことを理解している。</p> <p>主体的＝追究の様子、交流 知・技＝資料読み取りの様子</p>	<p>◇南蛮船と南蛮人 ◇鉄砲 ◇ザビエル ◇キリシタンの増加 日本にもたらされたものの中から追究の視点を与えることで、それがどんな影響を与えたかを考えることができるようにする。</p>

<p>5</p> <p>織田信長・豊臣秀吉による統一事業</p>	<p>織田信長の政策を理解し、豊臣秀吉との宗教政策の違いを調べることを通して、統治の仕方の違いに気づき、政策が異なる要因について考えることができる。</p> <p>☆織田信長 ☆楽市楽座 ☆豊臣秀吉 ☆安土桃山時代 ☆バテレン追放令</p>	<p>1. 歴史の流れから、本時の課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一をめざしたのだろうか。</p> <p>2. 信長と秀吉の統一事業について、年表や資料をもとに個人で追究し、交流する。</p> <p>織田信長の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。 ・織田信長は、鉄砲を有効に使い多くの戦国大名を破った。 ・楽市楽座を行い、商業を活性化させた。 ・キリスト教を擁護し、一方で仏教（一向宗・延暦寺）を弾圧した。 <p>豊臣秀吉の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長の後継者争いに勝利し、実権を握った。 ・長崎がイエズス会に寄進されていることから、キリスト教を弾圧した。（バテレン追放令） <p>3. 織田信長と豊臣秀吉の宗教政策の違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長は、キリスト教を擁護しているが秀吉は弾圧している。当時の国内の情勢を見て、それぞれが政策を行っていることがわかる。 <p>4. 本時の学習についてまとめる</p> <p>信長は、城下に楽市楽座を行い、商工業を発展させた。鉄砲をつかった戦術やキリスト教を擁護するなど、積極的に新しいものを取り入れた。しかし秀吉は、布教活動が侵略政策と結びついていることを危惧し、キリスト教を弾圧した。信長と秀吉の時代を安土桃山時代という。</p>	<p>織田信長はキリスト教を保護したことに対し、豊臣秀吉はキリスト教の広まりを恐れ、排除して実権を握ろうとしていたことを政策の違いから考えている。</p> <p>主体的＝追究の様子 思考＝交流の発言</p>	<p>◇長篠の戦い ◇楽市令 ◇安土城 ◇大阪城 ◇バテレン追放令</p> <p>織田信長と豊臣秀吉の宗教政策の違いに着目し、宗教政策の違いとその理由について理解できるようにする。</p>
<p>6</p> <p>兵農分離と秀吉の対外政策</p>	<p>秀吉の政策について調べる活動を通して、検地や刀狩、兵農分離によって財政基盤を確立したことに気づき、近世社会の枠組みが固まったことについて考えることができる。</p> <p>☆太閤検地 ☆石高 ☆刀狩 ☆兵農分離 ☆朝鮮侵略（文禄の役・慶長の役）</p>	<p>1. 秀吉が全国統一を果たしたことから、本時の課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊臣秀吉は、どのような政策で支配しようとしたのだろうか。</p> <p>2. 秀吉の統一事業について個人で追究し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪に壮大な城を築き、朝廷から関白に任命された。 ・検地を行い、農民に石高に応じた年貢を納めさせた。 ・百姓から武器を取り上げ、一揆など反抗をしないようにした。 ・武士や農民、町人などの身分を変えることができないようにした。 <p>3. 秀吉の対外政策について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秀吉の支配がキリスト教で妨げられないようバテレン追放令を出した。 ・秀吉は、朝鮮や中国まで支配しようとして、朝鮮に二度も出兵したが、失敗に終わった。 <p>4. 本時の学習についてまとめる</p> <p>豊臣秀吉は、太閤検地を行い全国の田畑の面積や土地を調べ、石高という統一の基準であらわした。また寺社などがもっていた特権を廃止したり、武士と農民を分けるために刀狩を行ったりした。（兵農分離）これにより、近世社会の仕組みが固まった。また、海外との貿易も積極的に行い、朝鮮半島も支配下に入れようとしたが失敗し、結果豊臣氏の没落につながっていった。</p>	<p>秀吉が行った様々な政策の内容や目的について、全国統一と関わらせて考えている。</p> <p>主体的＝追究の様子、交流 思考＝交流の発言</p>	<p>◇検地 ◇検地帳 ◇検地尺 ◇京ます ◇刀狩令</p> <p>「どのようにして支配をしていたのか」という視点を与えることで、秀吉の政策を自分でまとめることができるようにする。</p>
<p>7</p> <p>桃山文化</p>	<p>桃山文化の特色を調べる活動を通して、城の建築やふすま絵に代表されるように力強く豪華なものが多いことに気づき、ヨーロッパの影響や戦国の世の時代の影響を受けて、富や権力をもつ大名や大商人を中心に発達していったことがわかる。</p> <p>☆桃山文化 ☆城 ☆茶の湯 ☆千利休 ☆狩野永徳 ☆出雲阿国 ☆南蛮文化</p>	<p>1. 資料を見て気付いたことを発表し、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらびやかで豪華だ。 ・お金がかかっていると思う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">桃山文化とは、どのような文化なのだろうか。</p> <p>2. 資料から桃山文化の特色を調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人との貿易によって大商人が生まれ、その富を生かして豪華なものを作った。 ・大名は壮大な城を築き、支配者の権威を示すために高い天守閣がつくられた。 ・千利休は茶の湯を大成し、秀吉に重用された。 ・現世を楽しむ風潮があり、庶民にも文化が広がった。 ・ヨーロッパ文化の影響を強く受けた。 <p>3. なぜこのような豪華な文化になったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航により、ヨーロッパとの結び付きが強くなったから。 ・貿易などで権力をもった人々が自分の権威を示すため。 ・全国統一に向けて戦いがたくさんおこり、その中で力を付けた人々がたくさんいたから。 <p>4. 本時の学習についてまとめる</p> <p>桃山文化は、今までの文化にはない力強さ、豪華さ華やかさがある。やはり、乱れた世の中が一人の天下人に統一されて、新しい社会が形成される時代を反映しているのだろう。また、これまでと違う文化が広がった背景には、ヨーロッパとの交流も関係していると考えられる。大名や豪商など支配者に富が集中し、その権威を示すかのよう建物も大きく、作品も華やかである。</p>	<p>安土桃山の文化の特色を、南蛮文化の影響と文化財等の資料から理解することができる。</p> <p>主体的＝追究の様子 知・技＝資料読み取りの様子 思考＝まとめた内容</p>	<p>◇唐獅子図屏風 ◇姫路城 ◇千利休 ◇南蛮風の風俗 ◇ローマ字で書かれた平家物語</p> <p>室町文化と比較することで、桃山文化の時代背景を考えることができるようにする。</p>